

平成 29 年度事業計画について

○基本目標 1：地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」●**施策 1－①：市補助金の継続**

- ・路線バスへの補助金
- ・公共交通利用者に対する新たな補助金についての研究・検討（高齢者の方に対する補助金など）

●**施策 1－②：観光やイベント等によるバス利用のさらなる促進**

- ・エコツーリズム
- ・名栗地区体験イベントの開催（わくわく名栗クラブ）
- ・飯能ワンコインゾーンの 1 年間の実証実験の延長（国際興業バス）
- ・公共交通の利用促進事業の検討・実施

●**施策 1－③：バス運行環境の整備**

- ・待合施設整備及び情報提供

○基本目標 2：路線バスを身近にして公共交通を「育てる」●**施策 2－①：バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進**

- ・飯能市バスルートマップの配布
- ・バス案内表示板の設置検討

●**施策 2－②：モビリティマネジメントの推進**

- ・市広報、公共交通ニュースによるバス利用促進啓発
- ・ノーマイカーデーの実施
- ・ギャラリーバス車内展示の実施
- ・バスの乗り方教室の開催
- ・出前講座、公共交通の勉強会等の開催
- ・公共交通の維持・確保に関するポスター、チラシ等の作成

●**施策 2－③ バス利用のための利便性の向上**

- ・サイクル&バスライド、パーク&バスライドの研究
- ・バスまちスポットの登録促進

●**施策 2－④ バス路線の見直し等の検討**

- ・飯能大河原工業団地に立地した企業の従業員の交通手段確保の検討

○基本目標 3：生活を支える公共交通手段を「つくる」●**施策 3－① 「おでかけ」を守るための検討**

- ・ 地域公共交通対策協議会の開催
 - ・ 地域公共交通対策協議会分科会の開催
 - ・ 公共交通庁内検討委員会の開催
 - ・ 地域公共交通網形成計画素案の策定（調査業務含む）
 - ・ 地区別方向性の検討（網形成計画の策定と併せて随時検討）
 - ・ 吾野地区の「たすけあいあがの移動交通部会」との意見交換
- 施策 3－② スクールバスの活用の検討
- ・ スクールバスの混乗利用の検討（地域に出向き意見聴取）
- 施策 3－③ 社会資源の活用
- ・ 社会資源の活用に向けての現状把握・実態調査等（企業や病院などの施設送迎バスへの一般市民混乗）